

## 監理技術者の兼務要件を満たすことを確認できる資料

項目	要件	確認書類
監理技術者補佐	監理技術者補佐の資格を有すること	一級施工管理技士等の国家資格の合格証の写し、又は、学歴や実務経験を証明する書類など
	直接的かつ恒常的な雇用関係を有すること	健康保険被保険者証の写しなど
兼務する他の工事	同一の特例監理技術者が配置できる工事の数は、本工事を含め同時に2件までとすること	特例監理技術者が兼務する工事のコリンズの写しなど
他の工事との距離	兼務できる工事の施工場所は、本工事の施工場所から概ね10km以内であること	本工事場所と他工事の距離が確認できる資料
兼務する場合の施工体制	<p>以下の点について明らかにすること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特例監理技術者は、施工における主要な会議への参加、現場の巡回及び主要な工程の立会等の職務を適正に遂行する。</li> <li>・ 特例監理技術者と監理技術者補佐との間で常に連絡が取れる体制をとる。</li> <li>・ 監理技術者補佐が担う業務等</li> </ul>	業務分担、連絡体制等を記載した書類